

# 防風通聖散の使用例 — 肥満とアレルギー

峯  
尚志  
先生



## はじめに

近年、補剤の有用性について言及されることが多いが、一方で瀉剤の有用性が忘れられている感がある。現代のわれわれの日常生活を考慮すると、ストレス、過食、運動不足によって肥満が生じ、さまざまな体の異常を訴えられるケースが増えている。たとえば、肥満が原因で「痰飲」を生じ、粘稠度の高い水液が停滞し、熱化して鼻炎の症状を呈することがある。通常、アレルギー性鼻炎は「水飲」や「寒湿」と捉えられ、小青竜湯や麻黄附子細辛湯が使用されることが多いが、今回は防風通聖散を使用して良好な経過を得た症例を呈示し検討を加えてみたい。

### 症例 1 肥満改善とともに アレルギー性鼻炎の改善

42歳、女性。主訴は肥満。甘いものが好きで、20歳時55kgであった体重は、産後10年間で徐々に肥り、現在では79kgにもなり、肥満の解消を目的に来院した。来院時の所見として、軽いほせを自覚。

舌はやや暗淡紅色、白苔(+)、脈は弦、腹部は全体に軟、両臍下部に著明な圧痛を認めた。

このような所見から臓毒証体質に加え、瘀血と診断し、防風通聖散7.5g 合桂枝茯苓丸加薏苡仁7.5g/日を処方した。3ヵ月後には3kgの体重減少を認めしたが、その後は体重の大きな変化は認められなかった。しかし、初診時には訴えなかったが永年悩んで

いたアレルギー性鼻炎の症状がピタリと止まり、抗アレルギー薬の服用が不要となったとのこと。合わせてのほせも改善し、「体が軽くなったような爽快感」を自覚するようになった。

### 症例 2 通年性アレルギー性鼻炎とともに 肥満の改善

32歳、女性。主訴は水様性鼻汁、鼻閉。5年前より通年性鼻炎に悩む。起床時から大量の鼻水、その後、次第に粘稠になって膿性の鼻汁となり、鼻閉を起す重症タイプ。種々の抗アレルギー剤を服用しても、満足できる結果が得られないということで、体質改善をも含め当院受診。受診時の身体的所見は、身長158cm、体重73kgとかなりの肥満。顔色は赤ら顔で肥満症、鼻声で鼻溝はただれて赤い。

舌は紅色で黄白膩苔を認める。脈は弦、腹部は臍を中心に肥満している。便通は1日1回あるが、残便感があり、常にお腹が張ると訴える。

臓毒証体質と診断し、防風通聖散エキスを処方した。服用開始後、便通が1日1~2回、すっきりとした排便があり、「身体が軽くなった」ような爽快感を自覚するという。鼻水、鼻閉も改善の兆しを認めたが、粘稠の鼻汁がまだあるということで、辛夷清肺湯を合方した。その結果、粘稠の鼻汁が徐々に治まり、水様性の鼻汁・鼻閉も改善し、口呼吸も解消した。

さらに73kgもあった体重が、防風通聖散の約半年間の服薬で10kg減量した。健康的に痩せ、心身ともに爽快になったということで、大変感謝された症例である。防風通聖散が効果的であると判断できる場合には、患者さんの訴えとして、体重ではなく、身体が軽くなったという表現がよく聞かれる。

## まとめ

防風通聖散は、風毒、食毒、水毒、梅毒の4つの毒を駆逐する方剤(解表攻裏剤)といわれているが、当帰、芍薬、川芎といった補血薬、それから朮、甘草、生姜という補気・補脾薬を含むバランスのよい処方である。したがって、防風通聖散自体は、それに合った人であれば長期服用にも適した使い勝手のよい処方であるといえる。

# 慢性鼻炎の症例において

1985年 熊本大学医学部卒業  
 1986年 医療法人 木津川厚生会加賀屋病院  
 1999年 上海中薬大学短期留学  
 2004年 峯クリニック(茨木)開院

とくに現代社会のようにストレス、過食、運動不足が蔓延すると、脾気の運化機能が障害を受けて肥満を生じ、痰飲を形成しやすい。これは防風通聖散のよい適応である。このような病態にあっては、痰飲は熱化して「痰熱」や「瘀血」を生じることがある(図)。防風通聖散エキスは、バランスのよい処方である一方で、構成生薬の分量の面から瀉剤としてのめりはりに欠ける側面もあるので、防風通聖散の処方をベースとして、清熱解毒の成分を増やしたり、駆瘀血薬を追加することによって、これらの状態にもきめ細かな対応が可能となる。

症例1では、桂枝茯苓丸加薏苡仁エキスを合方して腹部の瘀血によるのぼせに対応した。症例2では、鼻から上気道の炎症を抑える辛夷清肺湯を合方し、石膏、黄芩、山梔子といった清熱成分を増量することによって、難治性鼻炎の改善を得た(表)。同時に体重の減少をみたが、病的に痩せるのではなく、身体が軽く感じ、健康感が増していることに注目したい。

表 防風通聖散合辛夷清肺湯

黄芩(1.5+3.0)、山梔子(1.2+3.0)、連翹(1.2)、  
 升麻(1.0)、知母(3.0)、石膏(2.0+5.0)、麻黄(1.2)、  
 防風(1.2)、荊芥(1.2)、薄荷(1.2)、芍薬(1.2)、  
 川芎(1.2)、当歸(1.2)、白朮(2.0)、甘草(2.0)、  
 生姜(0.3)、大黄(1.5)、芒硝(0.7)、麦門冬(5.0)、  
 百合(3.0)、辛夷(2.0)、枇杷葉(2.0)

## ディスカッション

### Discussion

後山：防風通聖散の正しい使い方、さらには効果が認められる場合の判定方法をご呈示いただきました。補剤のみならず、瀉剤についても目を向ける必要性を教えていただきました。

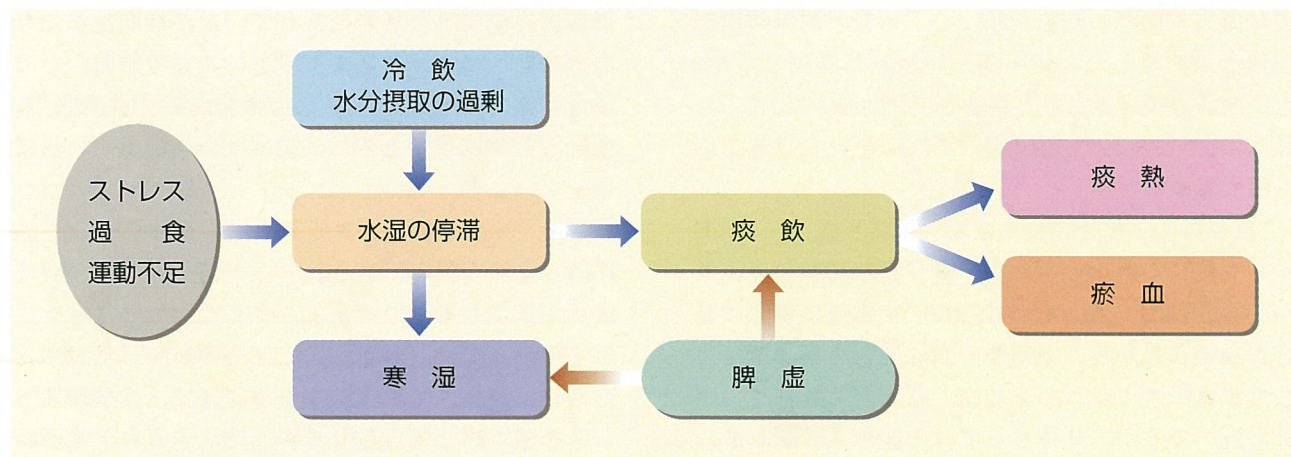


図 防風通聖散の適応病態